

3 1日の生活 ※A（通常）時程の場合

見附市立南中学校 1日の生活			
教育活動	時間（月・水・木）	時間（火・金）	主な活動等
登校	7:50～8:15	7:50～8:15	通学路を安全に歩きます。 地域の人にあいさつをします。
健康観察、朝読書、朝学習等	登校後～8:20	登校後～8:20	【登校後の行動】 8：20までに、各自が次のことを終えます。 ① 教室に入ったら、速やかに提出物を出します。 ② Chromebookを開けて、健康観察を入力します。朝学習やアンケート等でChromebookを使うときは、片付けずにそのままにします。 ③ 日直や係の仕事をしします。 ④ 朝学習または朝読書の準備をします。学年朝会の日は、遅れないように移動します。
	8:20～8:30	8:20～8:30	⑤ 8：20までに自席について、朝学習「読み方レスキュー」または朝読書を始めます。 ⑥ 朝学習の日は、7分間以内に問題の解答を終了します。答合わせをする前に、必ず自分の解答を見直します。見直しの時間も、7分間に含めます。 ⑦ 答合わせをします。 ⑧ 答合わせをしたら、Chromebookの「読み方レスキュー」のFormに結果を入力します。 ⑨ 8：30分までにChromebookと「読み方レスキュー」または読書の本を片付けます。
学級朝会	8:30～8:35	8:30～8:35	一日の予定や連絡をしっかりと聴きます。 自分の健康を確認し、一日の生活の見通しをもちます。
授業（1～4限）	8:45～12:35	8:45～12:35	休み時間は、着替えや移動、次の授業の準備に充てます。 着替えは、1限終了後から清掃までの間に済ませます。 集中して授業を受け、積極的に発言や発表をします。
			各教科の学習規律を守り、集中して学習します。
給食	12:35～12:45	12:35～12:45	時間内に終了するために、素早く身支度します。 衛生に気を配り、協力して配膳や後始末の準備をします。
	12:45～13:10	12:45～13:10	心身の健全な発育と望ましい食習慣の形成のために、健康によい食事の摂り方、正しいマナーなどを学びます。 歯磨きの習慣を身に付けます。 給食の後片付けや5限の授業の準備を済ませます。 委員会や係の活動があるときは、しっかり責任を果たします。 きまりを守り、友だちと一緒に楽しく遊びます。 いじめや人の嫌がることはしません。 具合が悪くなったり、困ったりしていることを先生に相談します。 集中力を切らずに学習します。 課題をしっかりと終わらせます。
授業（5、6限）	13:40～15:30	13:40～15:30	課題をしっかりと終わらせます。
清掃（火、金）	なし	15:35～15:45	黙働で学校や自分の心をきれいにします。
学級終会	15:35～15:45	15:50～16:00	「学年×10分以上」の学習時間になるよう家庭学習の予定を立てます。 最低でも80分以上は家庭学習をします。 明日以降の予定や連絡をしっかりと聴き、生活記録ノートに書きます。
部活動等 下校	月、水、木 火、木 部活動終了後下校	終会後下校 終会後下校 16:50 16:06 17:30	決められた通学路を通り、できるだけ複数で下校します。 交通ルールをしっかりと守ります。
家庭生活			毎日、「学年×10分以上」の家庭学習に取り組みます。 「ファミリールール」により、メディアを適切に使用します。 早寝早起き朝ご飯を毎日実行します。
南中学校5つの約束			
① 誰にでも通んで大きな声であいさつすることができる。（あいさつ） ② 時間を守って行動することができる。（3分前行動） ③ 私語を慎み、自分の役割を理解して、適切な言動をすることができる。（礼儀、マナーの尊重） ④ 相手の気持ちや立場を思いやり、尊重し、きまりをきちんと守ることを習慣化できる。（いじめ見逃しゼロ） ⑤ 場面や状況を適切に判断して、根拠をもって話すことができる。（思考力・判断力・表現力の育成）			
生徒指導の指針			
① 生活の基礎・基本となる指導 ② 社会性を身に付ける指導 ③ 安心して学習できる学校づくり ④ 生徒一人一人を大切にすること指導 ⑤ 問題行動を創出す児童への毅然とした指導 ⑥ 悩みや不安を気軽に相談できる体制の充実 ⑦ 家庭、地域及び関係諸機関等との行動型連携			

主な学校行事（予定） ※予定は、変更されることがあります。

月	日	曜	学校行事等	月	日	曜	学校行事等
5	2	木	学級討議	20	月		春の街頭指導（～5/22）
			教育実習（～5/24）				衣替え移行期間（～5/31）
			配電線工事（～5/7）	21	火		歯科検診
	7	火	部活動強調時程（～5/23）	23	木		定期テスト前部活動停止（～5/29）
	9	木	尿検査2次（～5/10）				耳鼻科検診
			計算テスト				古紙搬出作業
	11	土	緑の募金（校外）	24	金		学習補充教室
	13	月	第1回生徒総会				1年生マイタイムライン講演会
			緑の募金（校内）（～5/14）	27	月		心のアンケート
	14	火	3年生内科検診				学習補充教室
			1年生SDG s講演会				1年生心臓検診
	15	水	全校道徳授業（自殺予防） 分団集会	28	火		3年生いのちの教育講演会
	16	木	地域貢献活動	29	水		オープンスクール
			家庭学習強調旬間（～5/30）				中越地区大会激励会
	17	金	地域貢献活動予備日	30	木		第1回定期テスト（～5/31）
	18	土	配電線工事のため停電9:00～12:00	31	金		第1回英語検定

見附市立南中学校 学校だより5月号

南中だより

令和6年5月1日

教育目標 自主・協和・錬磨

電話 0258-62-0987 F A X 0256-62-0483

Mail minami@mitsuke-ngt.ed.jp

Homepage https://www.city.mitsuke.niigata.jp/site/minami/

大人になるための努力を② 手上げ式1人1ボランティア活動

校長 有本 千晴

今年度、本校は生徒会が中心となり、「手上げ式1人1ボランティア活動」を推進します。本校では、毎年度1回、地域貢献活動を実施しています。それに加えて、市やコミュニティのボランティア活動に各自で応募したり部活動で参加したりすることもあり、積極的に地域で活動する精神が学校の伝統として根付いています。地域からは、中学生にも地域の一員として参加してくれることを望む声も多くあります。

この伝統をさらに盛り上げるため、全校生徒の共通の認識として、1人が1回以上のボランティア活動に参加します。地域で多くの人と協働したりコミュニケーションを取ったりすることを通して、次のようなよいことが身に付くとよいと考えました。

【能力面】

- 責任感が高まる：活動に参加することは、何らかの役割や仕事を任されます。頼まれたときは、他のことをやりたい、先にやることがあるなどと思いながらも、「自分がやらなければ、みんなが困る」と自己管理するとともに、責任感が高まります。
- 問題解決力が身に付く：活動すると、うまくいかないことが出てくることがあります。どうすれば上手くいくか、失敗しないようにするにはどうすればよいかなどと真剣に考えて試行錯誤することで、問題解決力や困難に立ち向かう力が身に付きます。
- 脳の働きが活性化する：手順や段取りを考えたり、順番を覚えたりすること、手先を使って細かい作業をすることなどが脳に刺激を与え、脳の活性化につながります。
- 「段取り」「効率化」：仕事をするには、段取りが重要だと思います。限られた時間でどうやったら早くできるか、やりやすくなるか、同時にできることはないかなどの効率を考えるようになります。このことは、例えば家庭学習をするときに時間を上手く使おうとする発想につながるのではと思います。

【心理面のメリット】

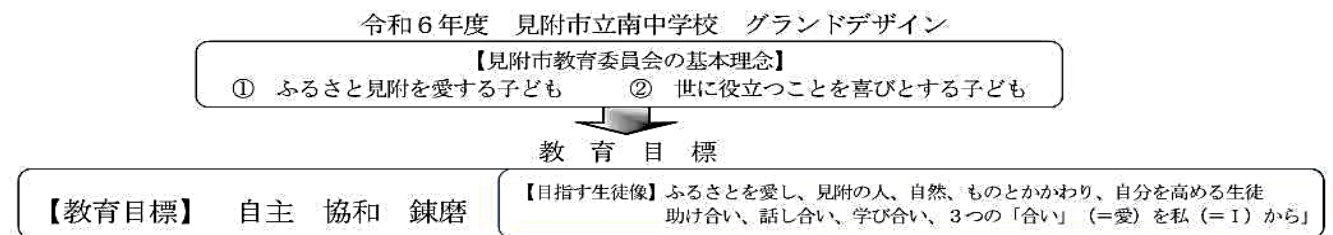
- 自己効力感が高まる：自分の働きに対して感謝されると、「役に立てた」という自己有用感や達成感を得ます。
- 奉仕の精神が身に付く：活動を通じて、大人と同じ体験をします。仕事の大変さや大切さを理解し、0「もっと何かできるのではないかな」と奉仕の気持ちをもちます。

見附市は、4月1日に「こども・子育てどまんなか条例」を制定しました。学校が果たす役割として「こどもと地域とのつながりの場所の一つとして、積極的に地域と交流するよう努力すること」が述べられています。ボランティア活動への参加は、安全を最優先に考え、計画的に推進します。保護者や地域の皆様からの御理解と御協力を得ながら進めて参ります。活動への御支援と見守りをお願い申し上げます。



南中学校の学校生活

1 グランドデザイン



知育	徳育	体育		
自りつ（立・律）のために必要な基礎的・汎用的能力の定着	自他共に落ち着いて教育活動に取り組むための言動の定着	命を大切に、自律的に生活習慣を改善する姿勢の定着		
1 成果目標 (1) 基礎学力の定着 ① 年3回の国語、数学、英語の基礎学力テストで、80点を上回る生徒が80%以上になる。 ② 学校生活アンケート（7、12月）の「授業が分かる」生徒が90%以上になる。 ③ 学校生活アンケート（7、12月）の「家庭学習強調句間で学年×10分間以上取り組んだ」生徒が80%以上になる。 (2) 読解力、活用力、学習調整力の育成① CRTの正答率が全国平均を上回る。 ② 全国学力・学習状況調査の平均正答率を上回る生徒が80%以上になる。 ③ 学校生活アンケート（7、12月）の「学校の学習内容が生活の役に立つ、生活を豊かにする」生徒が90%以上になる。 ④ 学期末の評価で、3観点のすべての評価がB以上の生徒が80%以上になる。	1 成果目標 (1) 助け合い、支え合う心を育む ① 学校生活アンケート（7、12月）で、「自分の活動や行動を他者から認めてもらったことがある」の肯定的評価が全校生徒の80%以上になる。 ② 学校生活アンケート（7、12月）で、「自分の仕事や役割を責任をもって果たした」の肯定的評価が全校生徒の80%以上になる。 ③ 学校生活アンケート（7、12月）で、「自分は学校や地域のボランティア活動に主体的に参加した」の肯定的評価が全校生徒の80%以上になる。 (2) 豊かな心を求める ① 学校生活アンケート（7、12月）で、「道徳の授業で、他者の意見を聞き、自分の考えをまとめることができた」の肯定的評価が全校生徒の80%以上になる。 ② 学校生活アンケート（7、12月）で、「学校、家庭、地域で自分から先に挨拶をした」の肯定的評価が全校生徒の80%以上になる。 ③ 学校生活アンケート（7、12月）で、「自他の人権を尊重し、いじめを許さない、見逃さないという気持ちをもって生活した」の肯定的評価が全校生徒の80%以上になる。	1 成果目標 (1) 体力の向上 ① 全国体力テストで県平均を上回る項目が30項目以上になる。 ② 学校生活アンケート（7、12月）で、「体育の授業内容に興味・関心がある」の肯定的評価が全校生徒で80%以上になる。 ③ 学校生活アンケート（7、12月）で、「保健体育の1時間の学習内容が理解できる」の肯定的評価が全校生徒で80%以上になる。 (2) 好ましい健康習慣の定着 ① 「My健」（6、10、1月）で、「メディアの適切な利用」、「学年×10分間以上の家庭学習」、「十分な睡眠」の目標達成率が70%以上になる。 ② 家庭での時間の使い方や工夫し、メディアを適切に利用するための「家庭での時間割」を作り、定期的に親子で話し合っていると回答する割合が70%以上になる。		
学び合いの中で思考を深め広げる生徒を育てる				
2 教育活動 (1) 郷土に誇りと愛着をもち、守り、受け継ぎ、発展させる態度を育成する。 ① アントレプレナーシップ教育と地域の学習を中核にした「総合的な学習の時間」 ② 地域の人材活用と体験活動の継続（外部講師による指導、体験、活動等） (2) 「目指す子ども像」を明確にした単元指導計画により、目標と評価、指導が一体化した、主体的・対話的で深い学びを実現する。 (3) 最終的にどの生徒も自分の考えをもち、発表することができる発問や解決の手立ての工夫が明確にあり、効果が目に見える指導計画を立てる。 (4) 学び合う場面で比較材料を提示し、生徒を触発することで、認識が拡大し、思考が深まり、何を学んだかが分かる授業にする。 (5) 切れ目のない学びを継続する。 ① 「本時の学習の予定」→「学習課題の提示」→「中心発問」→「まとめ」→「振り返り」のある授業の実践 ② 子どもが効果を感じる宿題や課題とそれを活用する授業の実践				
社会性を育み、故郷を愛する豊かな心もつ生徒を育てる				
2 教育活動 (1) 社会的なスキルを身に付け、人間関係づくりの能力を高める。 ① いじめをしない、許さない意識の醸成 ② 命を大切にする意識の醸成 ③ 自己表現力と傾聴する態度の育成 (2) 特別活動、総合的な学習の時間、道徳、各種教育を関連付け、地域における体験や校外学習などを通して、自己肯定感や達成感、故郷を愛する心を育てる。 (3) 学校行事や生徒会活動で実施する交流活動や体験で、生徒一人一人の役割を明確にして、自己有用感や満足感を高める。 (4) 年間35時間の道徳の授業を確実にに行い、問題解決的な資料を扱うとともに、道徳的行為に関する体験的な学習を計画的に適切に実施する。				
健康増進と体力向上に粘り強く努力する生徒を育てる				
2 教育活動 (1) 体育の授業や昼休み、部活動等で、体を動かすことの楽しさを実感し、運動に苦手意識をもたせないよう、達成感や練習すればできるという自信を体感できる取組を推進する。 (2) 生徒の運動能力や技能の程度に応じて、個別に練習に取り組める場を設定したり、弾力的にルールを適用したりして、生徒の課題解決への意欲を高めるとともに種目の持つ特性や魅力に触れ、運動の楽しさや喜びを味わうよう工夫する。 (3) 体育の授業で指導する種目を通して、仲間の大切さを実感することや、保健の授業で学習した健康管理、危機管理等に関することを、実生活で生かすよう指導する。 (4) 命を大切にし、健全な生活を送るために大切なこと（交通安全、メディアの適切な利用）を学び、実践する。危機意識と自己管理能力の育成のため、生徒の個別指導と家庭への啓発に取り組む。 (5) 健康診断や検診、学校保健委員会での学校医、学校歯科医、学校薬剤師の指導を受けて、広報活動や治療勧告に粘り強く取り組み、家庭や地域との連携、協働を推進する。				
地域	主体的に地域に貢献する活動を通して、ふるさとを愛する心を育てる			
1 成果目標				
(1) 主体的な貢献と参加				
① 学校生活アンケート（7、12月）で、「難しいことでも失敗を恐れずに挑戦した」の肯定的評価が全校生徒の80%以上になる。				
② 学校評価アンケート（7、12月）で、「人の役に立つ人間になりたいと思う」の肯定的評価が全校生徒の80%以上になる。				
(2) 学校・家庭・地域の連携				
① 学校生活アンケート（7、12月）で、「自分の住む地域に貢献したいという気持ちを持ち、地域貢献活動等に積極的に参加することができた」の肯定的評価が全校生徒の80%以上になる。				
② 学校生活アンケート（7、12月）で、「自分が住む地域の様子（地域の特徴や行事、危険箇所など）について理解を深めた」の肯定的評価が全校生徒の80%以上になる。				
2 教育活動				
(1) 学級活動または総合的な学習の時間において、地域貢献活動やボランティアの経験が各教科等の学習に生きていることなど、地域での活動と各教科等の深い関わりに気付く機会を設定する。				
(2) 生きた言葉の直接的なコミュニケーションを重視するために、「キャリア・パスポート」の記述を期末懇談会の面談で活用する。				
(3) 基礎的・汎用的能力の育成を目指す「ルーブリック評価表」を作成し、活用方法や評価方法とともに生徒と共有して、相互評価や自己評価させる。				
(4) 生徒に資質・能力の成長を折れ線グラフで記録させて、目に見えない「資質・能力」を捉えやすくする。グラフの上昇や下降の理由を文章で記述させて、成長したことや根拠を明確にして、資質・能力の成長を自覚できるようにする。				
2 地域との連携				
(1) 学校運営協議会、地域学校共同本部、コミュニティ後援会、PTAと連携して、次のことに取り組む。				
① ボランティア活動				
② あいさつ運動				
③ フラワーロード活動				
(2) 地域と連携した教育活動を推進する。				
① 「総合的な学習の時間」、道徳、特別活動、キャリア教育での地域人材の積極的活用				
ア 講演会、体験活動の講師				
イ 職場体験学習、職場見学				

2 校時表

(1) 昨年度から変更したこと

- 朝活動（朝学習、朝読書等）の時間を5分間から10分間に延ばしました。
- 給食の時間を30分間から35分間に延ばしました。
- 清掃を火曜日と金曜日の2日間にしました。このことにより、下校時刻が曜日により異なります。
- 通常時程（以下、A時程）と短縮時程（以下、B時程）に加えて、教育相談時程（以下、C時程）と定期テストや学力調査などを行う日の「テスト時程」を設定しました。授業の始まりと終わりの時刻が、時程により異なります。
- 水曜日は、原則として授業を5限までとします。5限で終わるときは、専門委員会や生徒の集い、学校行事などが30分間程度行われます。授業時数の確保のため、6限まで授業をする水曜日を毎月1回程度設けます。

(2) 校時表

- A（通常）時程（50分間授業）の日をできる限り維持します。
- C（教育相談）時程は、5月、9月、1月の全校生徒を対象に行います。
- （終学活）は、各時程に日に5限で終了する場合の時刻です。
- D（テスト）時程で、5、6限を45分授業にするときは、B（短縮）時程と同じ時刻。

時程	A（通常）時程	B（短縮）時程	C（教育相談）時程	D（テスト）時程
登校	8：20			
朝活動	8：20～8：30			
朝学活	8：30～8：35	8：20～8：25		8：20～8：25
教育相談			8：25～8：55	
1限	8：45～9：35	8：45～9：30	9：00～9：45	8：35～9：30
2限	9：45～10：35	9：40～10：25	9：55～10：40	9：40～10：35
3限	10：45～11：35	10：35～11：20	10：50～11：35	10：45～11：40
4限	11：45～12：35	11：30～12：15	11：45～12：30	11：50～12：35
給食	12：35～13：10	12：15～12：50	12：30～13：05	12：35～13：10
昼休み	13：10～13：40	12：50～13：20	13：05～13：35	13：10～13：40
5限	13：40～14：30	13：20～14：05	13：35～14：25	13：40～14：30
（終学活）	（14：35～14：45）	（14：10～14：20）	（14：30～14：40）	（14：35～14：45）
6限	14：40～15：30	14：15～15：00	14：35～15：25	14：40～15：30
清掃 ※火、金	15：35～15：45	15：05～15：15	15：30～15：40	15：35～15：45
終学活	15：50～16：00	15：20～15：30	15：45～15：55	15：50～16：00
放課後活動	16：00～17：15	15：30～17：15	15：55～17：15	16：00～17：15
下校	17：30			

(3) 朝活動

- 1週間の予定 ※学校行事等により、変更する場合があります。

曜日	月	火	水	木	金
1年生	朝読書	朝読書	1学年朝会	朝学習	朝学習
2年生	朝学習	朝学習	朝読書	2学年朝会	朝読書
3年生	朝読書	朝読書	朝学習	朝学習	3学年朝会

② 朝学習

ア 購入したドリル学習教材を、毎週2日以上学習します。

イ 朝会やアンケート、定期テストなどが予定されているときは実施しません。

ウ ドリル教材は、学校に留め置きます。終了後に集めず、生徒が自分のロッカーに置きます。